

# 監査委員決算審査報告

8月3日（火）から9日（月）まで7日間にわたり、平成21年度一般会計・7特別会計・1企業会計決算と事業実施状況について審査しました。その結果、次の意見を付しての報告がありました。

- 多額の不用額を出すことのないよう、常に業務の執行状況、さらには、決算見込みを的確に把握して、予算編成及び予算補正を適切に行うなど、限られた財源の効率的な運用を図るよう努められたい。
- 合併後5年間の決算規模を見てみると、歳入の伸びが見込めない中であって、合併後から徐々にではあるが、縮小してきてはいるが、本来の住民ニーズに対応し、より効率的・効果的な予算編成等に努めるとともに、一層の歳出の抑制を図られたい。
- 補助金の支出にあたっては、団体等の決算を注視し、町が補助すべきもの、団体みずからが行うべきもの等、明確な区分により補助基準を見直すなどさらに補助金の適正化を図るとともに、団体の自立化を促していくことが必要である。

監査委員 一 木 邦 彦  
監査委員 鯉 淵 秀 雄

## 財務比率

	平成21年度	平成20年度	平成19年度
財政力指数	0.41	0.42	0.41
経常収支比率(%)	87.2	89.7	89.2
公債費比率(%)	13.5	14.6	15.5
起債制限比率(%)	9.8	10.5	10.8
地方債現在高(万円)	1,211,519	1,241,137	1,274,463

財政力指数……………「1」に近いほどよく、「1」を超えるほど財源に余裕があることを示す。

経常収支比率……………おおむね70%から80%が標準とされる。

公債費比率……………高いほど自由に使える財源がせばまる。おおむね10%程度

起債制限比率……………過去3年平均で20%以上になると起債の許可が一部制限される。

## 近隣町村との比較

### 数字で比べてもかなり厳しい!! 今後の財政はどうなる?

平成27年度からは、普通交付税が大幅削減へ!  
合併特例法においての手厚い財政措置が終了し、町としての本来の算定額となると現在よりも減額となる。  
今後の行財政の合理化・効率化をどのように計画的に確実に進めていくかが大きな課題となる。

	財政力指数	経常収支比率(%)	実質公債費比率(%)
<b>城里町</b>	<b>0.410</b>	<b>89.7</b>	<b>17.0</b>
県平均	0.786	90.8	12.8
茨城町	0.581	85.9	14.7
大洗町	0.828	94.9	7.5
大子町	0.344	91.3	15.2

※「茨城県市町村概況（平成22年度版）」より抜粋

#### 実質公債費比率

率が高いほど財政運営が硬直化していることを示しており、18%以上の団体は地方債の発行に際し許可が必要となり、公債費負担適正化計画を策定し、財政の健全化を図る必要がある。さらに、25%以上の団体は一定の地方債の発行が制限される。

## 平成21年度特別会計決算

特別会計及び企業会計の決算は以下のとおりです。

(単位：万円)

会計名		歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康 保 険	保険事業	230,751	229,402	1,349
	診療所	27,920	27,015	905
老人保健		548	535	13
後期高齢者医療		16,830	16,682	148
介護保険	保険事業	140,329	138,363	1,966
	サービス	530	530	0
公共下水道事業		135,226	133,278	1,948
農業集落排水事業		54,761	54,364	397
簡易水道(塩子地区)		5,035	5,035	0
水道事業	収益的 収入・ 支出	59,765	57,110	2,655
	資本的 収入・ 支出	40,509	58,977	△18,468